

「東北大学による東日本大震災 6 ヶ月後報告会」を開催しました(2011/9/13)

本センターが所属する東北大学防災科学研究拠点の主催で「東北大学による東日本大震災6ヶ月後報告会ー復興に向けての大学の役割ー」をトラストシティ・カンファレンス仙台5階にて開催しました。この報告会は、地震発生から、1ヶ月後、3ヶ月後、6ヶ月後(半年後)、1年後、と開催していくもので、今回は第3弾になります。報告会の冒頭では、本学の井上総長から開会挨拶にて、東北大学の被害・復旧の現状のほか、「災害科学国際研究所」の設置に関する構想紹介がなされました。今回は、「特別講演」として宮城県から、「基調講演 過去の大震災から復興を学ぶ」として神戸市から、復興の実務に関する講演が行われました。宮城県からは東北大への期待が述べられ、神戸市からは阪神・淡路大震災での大学が果たした役割の紹介がありました。報告会の後半では、「各大学での取組みの紹介」として東北大学・岩手大学・福島大学から地域の復興に際しての活動状況の報告がなされ、「東北大での研究状況の紹介」として本学から8件の研究や地域支援の経過報告が行われました。当日は、一般、民間企業、官公庁、大学、報道機関等をあわせて約300名の方が来場され、講演内容を熱心に聴講されていました。次回は、「東北大学による東日本大震災1年後報告会」として、来年3月中旬に開催する予定です。

当センターの構成員が発表したタイトルは次の通りです。

※<http://www.dcrc.tohoku.ac.jp/surveys/20110311/event.html> から DL できます。

セッション3「各大学での取組みの紹介」

今村文彦：東北大学から

セッション4「東北大での研究状況の紹介」

源栄正人：内陸部における被害の実態と震災復旧・復興について

越村俊一：津波に強いまちづくりへの取り組みー仙台市沿岸部ー

今井健太郎：津波に強いまちづくりへの取り組みー石巻市中心市街地ー

柴山明寛、佐藤翔輔、今村文彦ら：東北大学による東日本大震災アーカイブプロジェクト」

報告者名はセンター構成員のみ掲載

